



このコーナーでは、皆さんからの「こころ和む話題」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆字数 200 文字以内（文章は、必要に応じて添削する場合があります）
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入がない場合イニシャルで掲載します）を記入の上、市広報係までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報係へ
- ◆締切は、毎月 10 日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里1888番地
市総務課広報係(大口庁舎)
「和みのひろば」係
☎1311
①1116・1117
✉koho@city.isa.le.jp



8月末のある夕方、川内の実家に帰ったとき、家は皆不在で開けひろげてはあるけど一人では居られず、夏になればエビ取りをしていた裏の川内川に行った。風景は昔のままエビはいなかったがボラが水面を飛び跳ね、ポチャピチャ…。何とも懐かしい響きで一瞬タイムスリップした感じで夕日がきれいであった。昔と違う事は、川に大きな南九州自動車道路がドーンと架けられていて現実に戻った。一時の昔の空気が癒された刻だった。

（羽月 せんでがらっぱ娘 50代）

からではなく、娘の作品だったから。自分のためにしている事だけど、他の誰かも楽しませているのだ。

（大口 イブピアジェ 40代）

隣の家のご夫婦は大の動物好き。ある日の畑作業中、翼の折れたトンビを助け、ご主人の「だれやめ」のつまみを減らしてトンビに三食、豚肉・鶏肉を与えたそうです。数日後、仲間のトンビが来るようになり、早く仲間のもとに帰そうと、治療してもらえる病院を始良で見つけ、「迎えにくるね、仲間が待つ大空に帰してあげるね」と泣きながら病院をあとにしたそうです。優しい人に助けてもらえて良かったなあと心が和む事でした。（針持 アトムママ 40代）

アトムママさんのお隣さんは、病院探しで遠くまで大変でした。自然にかえって仲間と元気に羽ばたく姿を想像すると、美味しく「だれやめ」こそついでですね。



編集後記

昭和初期の「人生50年」から、今は「人生80年」と言われる時代。80歳以上生きることが前提にして人生設計することが必要なほど今の高齢者はお元気だ。取材先で出会った皆さんとの年齢差を感じないおしゃべりで、以前聞いた若さを維持するための「かきくけこ」を思い出した。「か」は感動する。感情を身体や言葉で表現すること。「き」は、緊張する。家に閉じこもらず外へ出て他人に見られること。「く」は、くつろぐ。一日の中でゆっくりとお茶を飲む時間が必要。「け」は、決断する。人に任せるのではなく、自分で決める。「こ」は、好奇心を持つ。常に新しいものに興味を持つこと。

家族、地域の一員として人生を自立し、生き生きと生活するために素敵な考え方だなあと考えた。私も大先輩に習い「かきくけこ」を心がけてみよう。まずは、今日何を食べるか自分で「け」、決断だ！



人口のうごき
(住民基本台帳から)

H24. 9. 1 現在 (前月比)

総人口	29,272人	(- 25)
男	13,533人	(- 10)
女	15,739人	(- 15)
世帯数	14,229世帯	(- 16)